

労働組合運動 役割と21世紀の課題

目次

第一章 はたらく者の権利	6
一 労働にはルールがある	6
二 労働時間短縮をめぐる闘いの歴史と現在	12
三 非正規労働者の増大	18
第二章 労働組合とは何か	20
一 労働組合の役割	20
二 労働者が団結する意義	24
三 労働組合の闘い	28
四 労働組合の社会的役割	31
第三章 賃金と賃金闘争	34
一 賃金とは何か	34
二 賃金をめぐる法律と賃金制度	36
三 日本の賃金——大きな格差と低い水準	38
四 合理化、失業・半失業と賃金	40
五 春闘の現状と課題——上げ幅から水準へ	41
第四章 現在の雇用情勢をめぐる動き	45
一 はじめに	45
二 非正規雇用とは何か	45
三 働き方改革と非正規雇用	46
四 自治体の非正規雇用労働者「会計年度任用職員」	48
五 労働者派遣法改正	49
六 「フリーランス」というはたらき方	50
七 「副業・兼業」というはたらき方	52
八 高齢者雇用	53
九 外国人労働者	55
十 雇用の流動化と労働災害	56
十一 おわりに	57
第五章 労働運動の今後の課題	58
一 70年代からこれまでの資本主義の特徴と労働運動の課題	58
二 公務部門の労働運動——課題と展望	60
三 日本の労働運動が直面している課題から見る	65
四 政治闘争	68
五 組合の強化をめざす取り組み	69